

資材紹介



遮断熱シート(遮熱対策資材)

屋根からの輻射熱を遮断して、畜舎内の温度の上昇を緩和します。純度99.4%以上のアルミ箔を使用して、畜産用に特殊コーティングがしてあります。施工は簡単、光を反射して畜舎内が明るくなります。

製品寸法：幅1,200mm×42m巻(空気層：厚さ7mm)

QRコードから「養牛資材紹介(2020年版)」PDFがご覧いただけます。
※「遮断熱シート」は42ページ



養牛資材紹介 2020年 検索

【お問合せ先】
全農畜産サービス株式会社 TEL: 03-5245-4871

知っておきたい ちくさん用語!

プレバイオティクス

(25ページより)

「プレバイオティクス」は、腸内に棲息する特定の有用細菌の増殖を促進する、あるいは活性化させる食餌性成分のこと。一方、家畜や人間などの健康とその維持及び増進に有益な効果を示す微生物調製物、あるいは微生物細胞の構成物を「プロバイオティクス」という。

編集後記

コロナ禍の中、今回の「一生懸命」はリモートで取材をさせていただきました。初めての試みにご協力くださったYファーム佐野の皆さま、ありがとうございました。
なお、今号より、一部記事をリニューアルいたしました。一方で、新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず内容を変更した記事もございます。今後の状況を注視し、より一層充実した内容をお届けできるよう努めてまいります。(T)



JA全農兵庫 『「損保乃糸」限定品・ 播州小麦』(20冊)



3名様

e-mail: zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp

メールでご応募の場合の必要記載事項①次号のテーマへの回答と本誌に関するご意見②お名前③家畜の種類④郵便番号⑤ご住所⑥電話番号⑦全国配合飼料供給安定基金加入者名⑧本誌への名前記載の可否(掲載不可の場合はペンネームか匿名)又、個別のご質問への回答は行っておりませんので、ご了承ください。

メール用
QRコード



プレゼント

本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選でJAタウンに出品されている各地の名産品等をプレゼントします。とじ込みハガキ・FAX用紙・メールをご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。ご回答は、誌面に掲載される場合があります。お名前の掲載が不可の方はペンネームか匿名希望を明記ください。

締め切り:2020年7月20日到着分まで

ちくさんクラブ21及びハガキ・FAX・メール、アンケートの個人情報保護法対応ご提供いただいた個人情報は①誌面企画への反映、②質問に対する回答発送、③意見に対する確認作業、④プレゼント発送に利用いたします。また、この情報はJA全農からの情報提供を目的として利用させていただきます。個人情報はJA全農個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳しくは「JA全農ホームページ」にあります個人情報に関するご案内をご覧ください。http://www.zennoh.or.jp/

読者の広場

コロナ禍で街から人が消え、消費者の行動や流通ルートが大きく変化した半年でしたが、今年の後半は穏やかな日が戻ってほしいと願うばかりです。今回は日常生活での衛生面の強化などについてお聞きしました。

Q. 日常生活では衛生面をどのように強化されていますか？

- 手洗い、うがい、牛舎・敷地内の消毒。
(岩手県・乳牛 匿名)
- 毎日の堆肥出し。こまめな薬の入れ替え。
(宮崎県・和牛 下原 利治さん)
- 毎日の牛小屋の掃除など。まめに綺麗にする事で牛が気持ち良く過ごしてくれるよう心がけています。
(長崎県・黒毛和牛 匿名)

「読者からひと言」

- 「ホルスタイン種の改良情報が知りたい」
(群馬県・乳牛 匿名)
- 「個人的には肉用牛の記事が増えて大変充実しています。また、農家の方々の意見や情報が多く掲載されているので、刺激を受けています」
(京都府・肉用牛繁殖 株式会社いちがお畜産)
- 「酪農機械や機材のフリマなど、若い人には目を引くと思います。あと、福島県にも取材願いたい」
(福島県・和牛繁殖 みちのくペコヤさん)

Q. 家畜の改良について、どのような事を望みますか？

- ゲノム育種価を大いに利用した保留牛の確保。
(山口県・黒毛和牛 有限会社豊田あぐりサービス)
- 安福久以外の牛の活躍を……。
(長崎県・肉用牛繁殖 牛さん)
- 1年1産できるような牛を作る。
(青森県・肉牛 匿名)

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。
「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

見てみて! うちの農場

vol.14

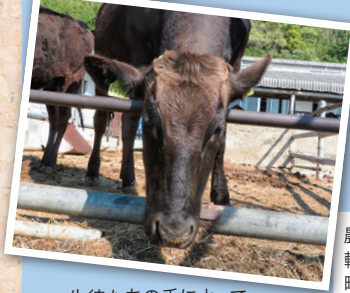
-高等学校編-



愛知県立渥美農業高等学校

本校では、鶏200羽、黒毛和種の母牛18頭、和牛甲子園への出品予定牛を毎年2頭飼育しています。更に2月には新たにパークシャー種を導入し、今年度から本格的な黒豚生産を開始しました。また、和牛甲子園への2度目の挑戦や、純粋黒豚生産体系の確立、豚でのJGAP認証取得など、畜産の専攻生や動物科学部員とともに、さまざまな取り組みをします。畜産業が盛んな愛知県田原市、唯一の農業高校として、幅広く挑戦していきます。

エコーを使って
肉質を調べる様子



生徒たちの手によって
立派に育っていく牛

農場で働くご家族、従業員の方々などを写真とともに紹介します。写真は農場内ならOK。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課/ちくさんクラブ21編集部もしくは、eメール「zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp」まで。

次号の テーマ

- ▶地域の夏の風物詩を教えてください。
- ▶夏の畜舎の管理で特に配慮されている点はありませんか？

令和2年6月発行(隔月発行)※本誌の無断転載を禁じます